

戦略の考え方

直面する課題

- 新型コロナ危機により顕在化した東京一極集中の弊害
- デジタル対応、脱炭素社会の急速な進展への対応
- 人口減少や少子高齢化の進行、激甚化する災害対応
- 本県の強みである自動車産業が、産業構造の変化により弱みに転じる懸念

[本県の現状]

- 経済・雇用情勢
 - ・景況 K字型経済、中小企業の負債は高水準（無利子無担保融資の6割は返済期日未到来）
 - ・雇用 現状は雇調金頼み。求められる人手不足業界や成長分野への労働移動
⇒ 中小企業の課題は、借入返済にシフト
- アフターコロナに向けた出口戦略の動き（防疫と経済の調和）
⇒ 目指す方向性を見極めた、柔軟できめ細やかな支援
[国の政策は、グローバル型・サプライチェーン型、地域資源型・地域コミュニティ型の2つに大別]
- 県内中小企業は、設備老朽化への投資が中心。成長分野への投資が停滞

戦略的な施策展開

基本理念

東京時代から静岡時代へ～新しい生産と消費の循環でSDGsを達成～

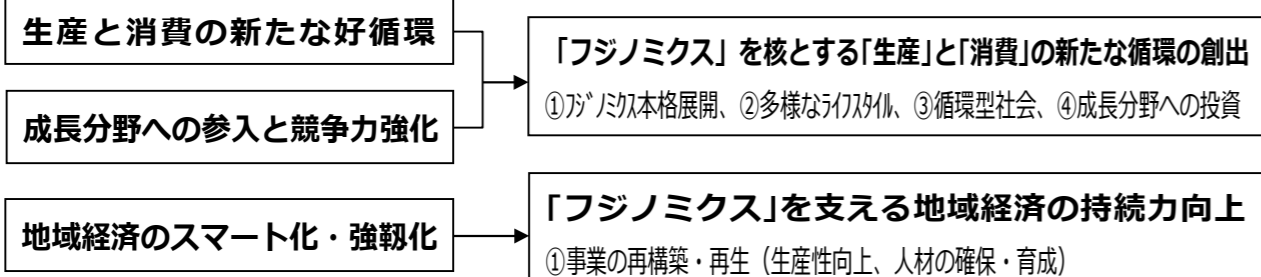
目指す姿

[需要面] 生活空間の拡大と新しい物流網の構築
[供給面] DXと脱炭素への積極的な投資

- ◎ 事業継続への支援：資金繰りと雇用維持から、事業継続のための本業支援にシフト
- ◎ 経済の早期回復：① 個人消費拡大を促し、幅広い業種の生産増加をもたらす好循環を創出
② 好調業種が全体を牽引し、持続的な成長軌道に回帰する道筋を構築
[DXにより経営を変革し、新たな成長要因である脱炭素を取り込む]

【目指す方向性】

【施策の柱立て】



I 現状と課題

1 コロナ禍で顕在化した課題とチャンス（経済関係）

(1) 喫緊の課題は、東京一極集中、デジタルの遅れ等への対応

- ・感染リスクの低い中部4県の連携を目指し、短期での成果も期待できる農林水産物などの県産品、観光を中心とした交流を拡大
- ・デジタルとデータが競争力の源泉に。自動車産業など本県産業を主導する部門で、DX、脱炭素、サプライチェーン再編等の構造転換が必要

⇒ 需要面から個人消費喚起、供給面からリーディング産業育成に注力

(2) コロナ禍は、多様な消費・生活スタイルを求める動きを加速

- ・多様な選択肢を前提に、個々人が自由に「モノ」を選択する消費・生活スタイルが広まる。
- ・コロナ禍で地方への人の流れが加速化。地域資源を活かし、移住・定住人口に繋げる必要

⇒ それぞれのライフスタイルを実現できる生活空間を整備し、個人消費を喚起。地域主導での、需要と供給の好循環を創出

(3) 脱炭素・環境対応が新しい経済成長のチャンスに

- ・環境対策は経済の制約ではなく、社会経済を大きく変革し、投資を促し、生産性を向上させ、力強い成長を生み出す鍵となるものに。
- ・サプライチェーン全体でのカーボンニュートラル化への対応が不可逆的に進展

⇒ 最大限の省エネ・再エネ導入と、自動車産業を脱炭素のリード役に、県内産業全体での対応を促進

(4) DXで成長分野・領域の競争力を強化

- ・デジタルによる社会経済の変化・個人の行動変容が、ビジネスモデルを変革
- ・社会実装に向けた実証フィールドの形成、多様なモビリティの活用等が進展

⇒ 人材投資、研究開発、設備投資の好循環が、地域経済の成長へ。

2 地域経済の持続性

(1) 需要消失やサプライチェーン寸断等を踏まえた産業の強靱化

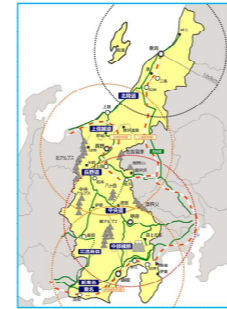
- ・コロナ禍でダメージを受けた企業の事業継続に向けて、生産性向上が重要。コロナ禍の景気回復局面で、人手不足の深刻化が懸念
- ・自然災害の頻発やコロナ禍で、自然災害、感染症の両面から対策が必要

⇒ 企業の実態に即した、きめ細かな支援が必要

II 主な取組

1 地域主導型の経済政策「フジノミクス」を核とする生産と消費の新たな循環の創出

(1) 「フジノミクス」の本格展開



新たな広域経済圏「山の洲」

- ◎ **新たな広域経済圏「山の洲」を形成し、個人消費の喚起と取り込み**
 - ・「バイ・山の洲」の展開、小売・流通事業者への売り込み
 - ・中部横断自動車道や清水港を活用した国内外への新しい物流・商流の構築
 - ・「山の洲」域内での観光交流の促進、近隣県との連携による圏域外からの誘客促進など
- ◎ **リーディング産業への重点投資（DX（デジタル、データ）での構造転換による競争力強化）**
 - ・ Industry Innovation×DX
（ファルマ、FHCaOI、フォトン、次世代自動車、航空宇宙、先端素材（CNF））
 - ・ Green Innovation×DX（AOI、ChaOI）
 - ・ Blue Innovation×DX（MaOI）
 - ・リーディングセクターの競争力強化（医薬品・医療機器産業、自動車産業の電動化、ヘルスケアサービス（ICOI[®]イコイ）ほか）
 - ・サステナブルツーリズムの推進、観光デジタル情報プラットフォームの利活用推進、ワーケーションの受入促進など

(2) 新たな生活様式を踏まえた個人消費の拡大



テレワーク移住者（松崎町）

- ◎ **新しい働き方の実践**
 - ・テレワークの促進・定着、多様な勤務制度や働き方の導入
 - ・多様な人材の活躍
- ◎ **生活空間の拡大**
 - ・移住の促進、UIJ ターン
 - ・県産材利用促進、県産家具やインテリア（オープンファクトリー）
- ◎ **人々を惹きつける豊かな地域資源の新結合**
 - ・食×観光の新たな展開（ガストロノミーツーリズム、ローカルフードプロジェクト（食と農のビジネス構築））
 - ・農芸品の販売力・流通体制強化（新ロゴマーク「頂」）
 - ・美しく活力のある農村の創造



新ロゴマーク「頂」

(3) 環境と経済成長が両立した循環型社会への移行



水素ステーション静岡

- ◎ **脱炭素型産業構造への転換**
 - ・徹底的な省エネと再エネ導入促進
 - ・脱炭素社会のインフラ整備支援、脱炭素・省エネの産業化
 - ・吸収源対策の推進
- ◎ **サプライチェーン全体の脱炭素化（自動車産業の手法を他産業に横展開）**
- ◎ **サーキュラーエコノミーへの対応（自動車産業で研究会立ち上げ）**

(4) 成長分野・領域への投資促進（中小から中堅企業へ）[グローバル型・サプライチェーン型]



TECH BEAT Shizuoka

- ◎ **デジタル人材の確保・育成**
 - ・先端人材の確保、企業内人材の再教育
 - ・高度な知識と技術を持つ産業人材の育成
- ◎ **研究開発・オープンイノベーションの推進**
 - ・企業連携で協調領域での研究開発や実証試験
 - ・オープンイノベーションの環境整備（企業参加型オープン・コミュニティサイト）
 - ・大学発ベンチャー支援
- ◎ **継続的な設備投資の促進**
 - ・投資の呼び水となる環境整備（地域経済牽引事業計画、経営革新計画）
 - ・企業誘致・県内定着（マザー工場・研究所、実証フィールド、ICT企業）
 - ・スマートファクトリー化（IoT・ロボット導入）

2 「フジノミクス」を支える地域経済の持続力向上

(1) 中小・小規模企業の事業再構築・再生による経営の強靱化 [地域資源型・地域コミュニティ型]



- ◎ **事業の付加価値向上や事業継続への支援**
 - ・地域を支える小売業、サービス・観光業等の本業支援（収益力改善）、創業支援
 - ・小規模・個人事業者向け事業承継対策の強化（計画から実行までの支援）
 - ・BCP 策定促進（自然災害・感染症）
- ◎ **人材の確保・育成**
 - ・移住・UI ターンの促進（新卒（大学低学年の取組強化）、中途採用、30歳になったら静岡県）
 - ・職業訓練、企業内人材の再教育